

- (一) 福岡市の財政構造について
- (二) これまでの健全化の取組みについて
- (三) 今後の財政見通しについて
- (四) 健全な財政運営に向けた取組みについて

が、円グラフ、棒グラフ、折れ線グラフなど詳細にデータとしてまとめてあり、今村氏の福岡市の財政に関わってきた自信からか要点は丁寧に、メリハリのきいた最後まで非常に解りやすい講義であった。

感想

福岡市の一般会計予算、(歳入&歳出)は、平成28年度7845億円で、浜田市の約20倍と財政規模においては全く参考にならないが、財政構造における歳入、歳出の性質別、目的別の考え方や公共投資を積極的に増やした結果、後に多額の公債費負担が財政の硬直化を高めることとなった推移については、非常に参考になった。

これまでの財政健全化の取組みについては、計画的に市債発行の抑制をしたり、「中期財政見通し」により見込まれる財源不足については、行財政改革(歳入歳出の一体見直し、資産・負債の圧縮、システム・手法の改革)に取り組んだり、また市民にとってわかりやすい財政情報の提供などを行っている。

財政健全化とは、浜田市において、一般財源の総額から、伸びている社会保障関係費や義務的経費を除いて、重要施策の推進や新たな課題に対応するための政策的経費をいかに増加、確保できるかであり、その為には、過去の政策決定のランニングコストを縮小・減額にもっていくことや、公共施設等の改修・修繕のアセットマネジメントが大変重要になると感じた。

今回の研修は、福岡市の財政を例にとり行われたが、いろいろ資料をチェックしていく過程で、浜田市が毎年3月に出される“当初予算説明資料”が非常に内容が良く、レベルも高い方ではないかと改めて思った。